



2022(仏暦2565)年 3月号 (第126号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行
浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1
電話 0267-67-2460



■住職法話

おや あみだ
「親さま」は阿弥陀さま

■浄土真宗 ⑧仏事のイロハ

■本願寺の本

はじめて出^で遇^あう^{ぶつてん}仏典のことは

■編集後記

年忌法要表

1 周忌	2021(令和 3)年	23 回忌	2000(平成12)年
3 回忌	2020(令和 2)年	25 回忌	1998(平成10)年
7 回忌	2016(平成28)年	27 回忌	1996(平成 8)年
13 回忌	2010(平成22)年	33 回忌	1990(平成 2)年
17 回忌	2006(平成18)年	50 回忌	1973(昭和48)年

住職 法話

今月の法語

われ称え

われ聞くなれど

南無阿弥陀

つれてゆくぞの

親のよびごえ

「親さま」は阿弥陀さま

今月の法語は、原口針水という方の言葉です。この言葉の意味は、「私が称え、またその自分の声を私自身が聞くのだけれど、この南無阿弥陀仏は、お浄土に連れて行くぞといわれる親さまの喚び声に他ならない」ということです。

この中の、「親さま」とは阿弥陀仏のことです。

阿弥陀仏のことを、親しみ

を込めて「親さま」と言われている地域もあります。また、真なるという意味で「真実の親」とも言われています。

西本願寺の時間というラジオ番組の言葉をもとにした「みほとけとともに」という本があります。その中の、「親さま」という題の、三浦性曉先生の言葉が目に残りました。

「子を持つて知る親の恩」よく耳にする言葉です。しかし、それだけでは親の恩を知ったことにはならないと聞いたことがあります。その子に、裏切られたとき、それでもなお、見捨てることができない親としての心

情を自覚したとき、初めて自らにかけられたほんとうの親の恩を知るのです。

「子に裏切られて知る、親の恩」とでもいうのでしようか。

私たちが、阿弥陀さまを「親さま」「真実の親」と呼ばせていただくのは、私たちがいつも見つめ、私が願う前から慈しみ育て、私に願いをかける前に、自ら「親になることを願う」存在だからです。

そして、その親を裏切りつづけるこの私が、親であり続けようとする存在、はたらきに気づかされたとき、「親さま」と阿弥陀さまを

いただくことができるのです。

私自身、顧みますと、自らの欲のために人を傷つけ裏切り通しの人生ばかり歩んできてしまっています。しかし、その中であって、「親さま」と呼べる目には見えないが真実の存在が身近に常にいらっしやったことが、私を前へ進めてくださったのだと感謝するばかりです。まだまだ未熟者で、本当の意味で親の恩は知らされていないのだと感じています。



浄土真宗

⑧ 仏事のイロハ

二、葬儀を行う

― 悲しみを超えて―

「遺体を前にして」

冥途へトボトボ旅に出よう。

浄土真宗の教えは「阿弥陀仏より賜る信心」一つで、死と同時に浄土に生まれ、仏さまと成らせていただくという教えです。したがって、葬儀もこの教えに則して行われることは言つまでもありません。亡き人はすでに浄土に参られ、仏さまとなって私たちにはたらきかけてくださっているのです。この点をしっかりと押さえておきましょう。

なぜこんなことを言うのかと申しますと、葬儀には、「死出の旅」の発想に基づく風習も、根強く残っているからです。

それによると、故人は死後「冥途への旅」にトボトボと出かけるそうです。そのため、遺族らは旅支度を整えるなど「旅路（修行）の手助け」をしなければならぬわけなのです。たぶんですがラジヤや脚半手巾、経帷子といった旅装



束を死者に着せたり、枕元には枕団子や枕飯（膳飯）を供えたりします。これは旅行中の弁当代わりだそうです。

こうして準備万端整えて「さあ、迷わず冥途へ行ってくれ」となるのでしょうか。

しかし、先に述べましたように、亡き人はすでに浄土に参られ、仏さまに成られているのです。旅する暇もなく、阿弥陀さまのはたらきによって救いとられているのです。したがって、旅支度をする必要はありませんし、修行の手助けや冥福を祈る必要もないわけです。また当然のことながら魔除けの刀もいりません。

もっとも、こんな風に「必要なし」とばかり言っているとは何もしないのか」と

言われそうです。

そこで、遺体の扱い方について申しましょう。まずお仏壇あるいは本尊の傍（正面は避ける）に、なるべく北枕になるよう安置します。顔は白布で覆い、手を合わせて念珠をかけます。また、納棺の際には体をていねいにぬぐい、清潔な白衣を着せてあげてください。

このように、けつして遺体を粗末に扱うのではなく、教えにそぐわないことをしないまでです。

「浄土真宗 ⑧ 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より



～本願寺の本～

「いのちの葉13 はじめて出遇う仏典のことば」

野呂靖 著／本願寺出版社 刊 165円(税込)

数千年の時を超えて出遇う^{であ ぶつてん}仏典のことば。それは孤独を感じていた著者の人生を歩む「よき同伴者」となった。仏さまのことばに導かれ歩む先に開かれる、心安らぐ生き方とは。

[本願寺出版社ホームページより]

「いのちの葉」というシリーズで、他に何冊も出されている本です。読み切り感覚で手頃なところがお薦めです。



携帯サイト

携帯電話からも商品をご注文いただけます。QRコードからアクセス→



親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要
立教開宗800年

Joint Celebration

850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day

親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

編集後記

ロシアのウクライナへの侵攻が収まらず戦争状態が長引いています。犠牲者が増えるばかりです。武器を取った戦争は断固反対です！
◆両国に限らず、外交は常に人の欲と欲のぶつかり合いです。自国の政策を主張したり、国民が豊かな暮らしが出来るようにと交渉を重ねながら進めていくものです。力でもって実力行使するものではありません。現状では、北方領土問題が、また進まなくなるにとが残念でなりません。◆季節の変わり目で、気温差が激しい日があります。皆さまお身体に気をつけて下さい。